

関西業務ニュース

2012年12月26日 No.205

JR東海労働組合新幹線関西地方本部

発行 小林 國博 編集 業務部

12月25日業務委員会開催

「新大阪駅27番線開業に伴う輸送体制の見直しについて」会社提案！
輸送等8名の要員増 1月27日以降、関係社員へ説明を行う。

《若干のやりとり》

組合：要員8名増の勤務形態・出面はどうなっているか。

会社：輸送担当が、交6形2名、現交7形を日2に変更し1名。案内担当が、交7形1名の出面増となる。

組合：27番線の立哨は何名か？また、立哨位置は？

会社：輸送担当が、12・13号車付近、案内担当が、4・5号車付近の2名立哨となる。

組合：なぜ2名なのか、その根拠は？

会社：まず、①直線で見通しが良いこと。②おもに直通列車を入れる。③東京からの新大阪止めは入れないので、車内点検がない。折り返し清掃もない。

組合：可動柵の取り扱いは？

会社：輸送担当が乗降終了合図ボタンを押すと連動して閉まる。

組合：可動柵に旅客が挟まった場合はどうなるのか？

会社：そこの可動柵だけ開く。詳しいホーム設備取扱いについては、1月27日以降関係員への説明で行う。

組合：設備関係で聞くが、前部標識確認ミラーを撤去する掲示が出たがこれからも設置しないということか。

会社：設置しない。運転台の確認で出来るので今後も付ける予定はない。

※別紙 会社提案資料1枚添付

以上